

神戸山スキークラブ 年始・毛無山・鍋倉山 山行記録

1. 日程 平成 31 月(2019)年 1 月 12 日(土)~13 日(日)

1 日目 野沢温泉スキー場から毛無山 (その後ゲレンデスキー、木島平の旅館泊)

2 日目 温井集落から鍋倉山 (その後、馬曲温泉入浴)

2. 参加者 藤田(正)、内田、池淵、小村(京)、中村

1 日目 2019(平成 31)年 1 月 12 日(土) 晴れ、風なし

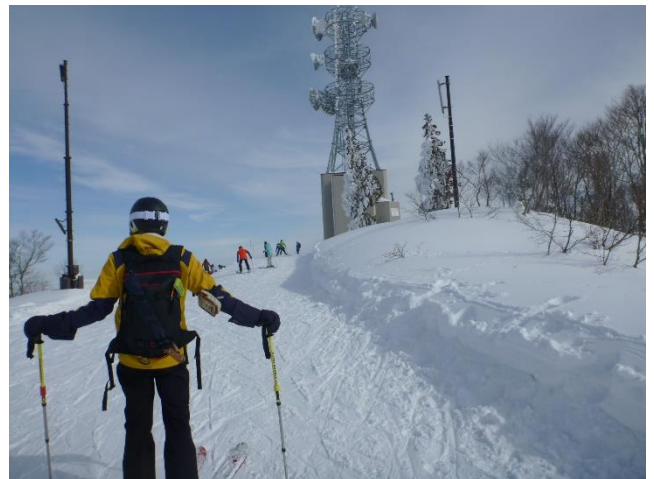
毛 無 山

前夜発で神戸を出発。

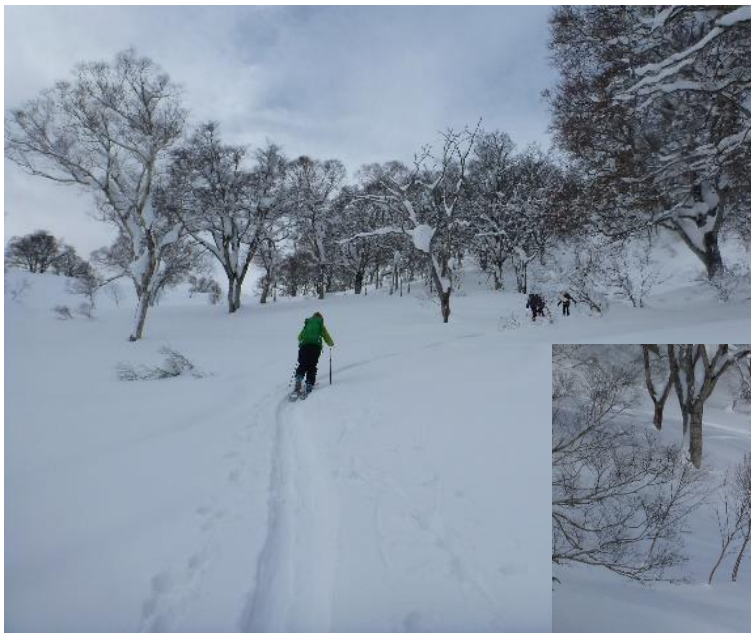
柄沢第一駐車場に 5 時頃到着仮眠後始発の Gondola リフトで毛無山山頂へ。

1 日券を購入(シニア券 3 人、大人 2 人)する。

長坂 Gondola は、始発前から行列ができる。



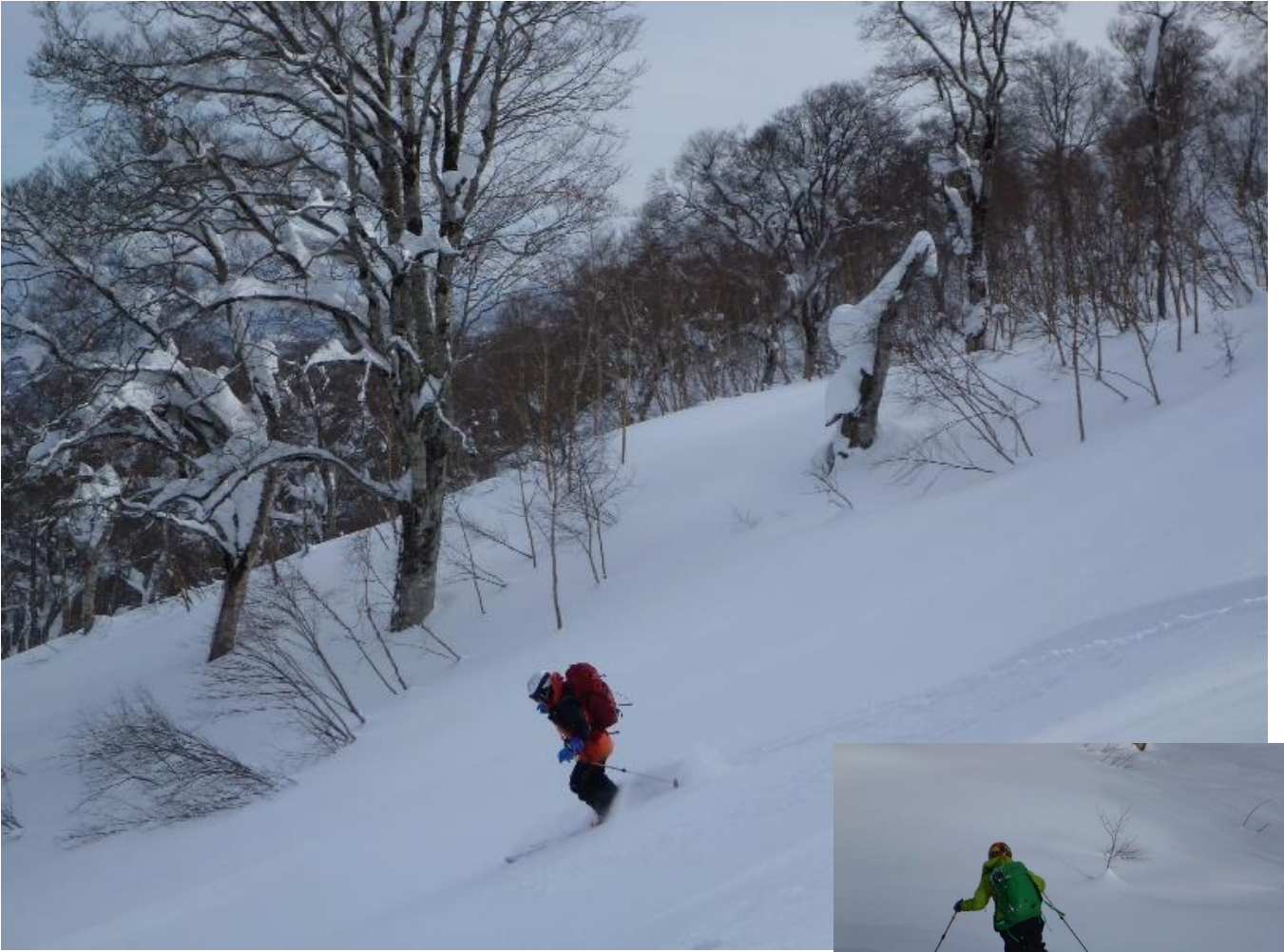
やまびこ高速フード付きリフト3本分をオフピステで滑降。途中、2回、シールを付けて反対側斜面に登り返し、計5本滑降。



GPS トラックの②の斜面のトレース。メンバー 5 人分のシュプール。

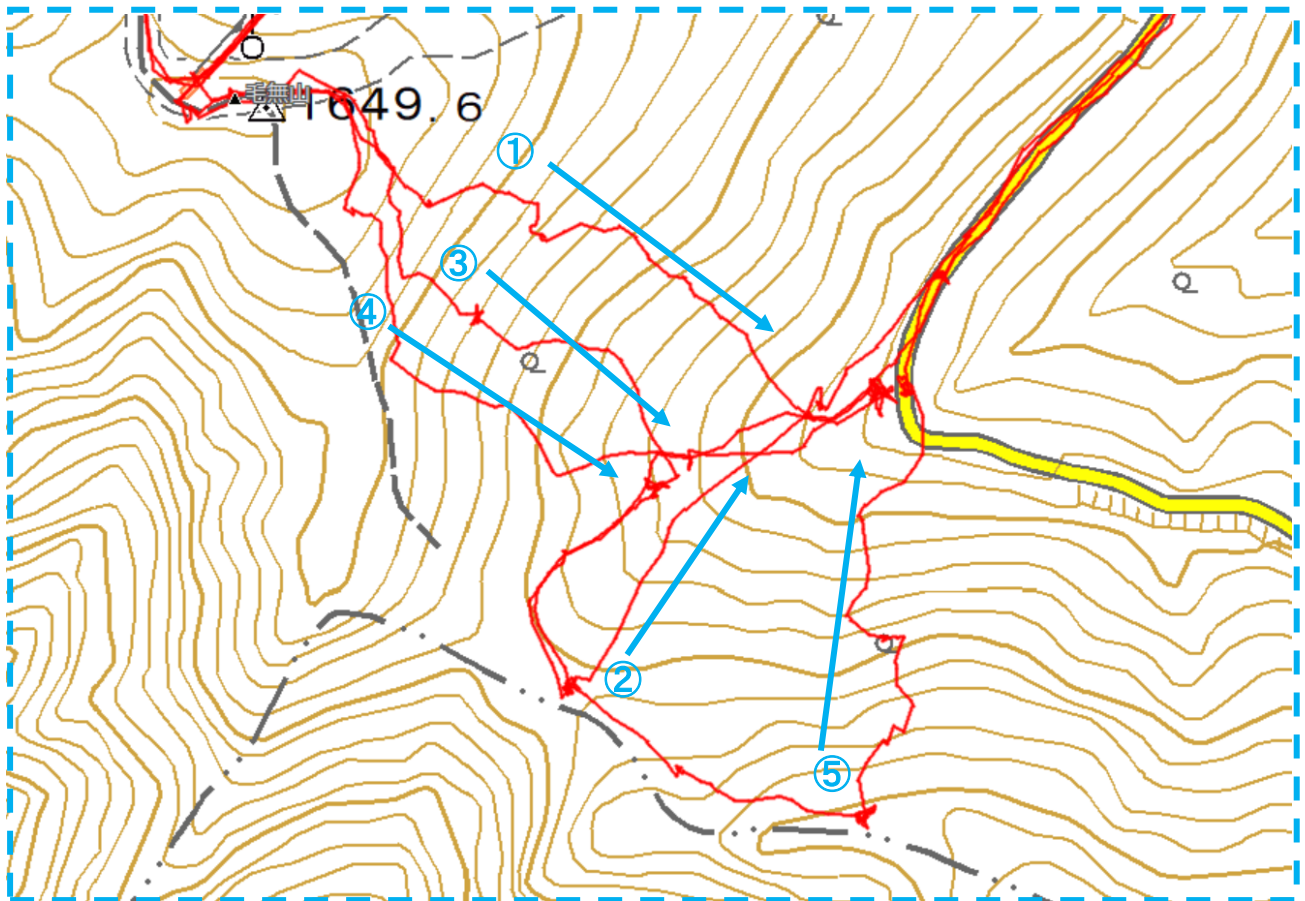
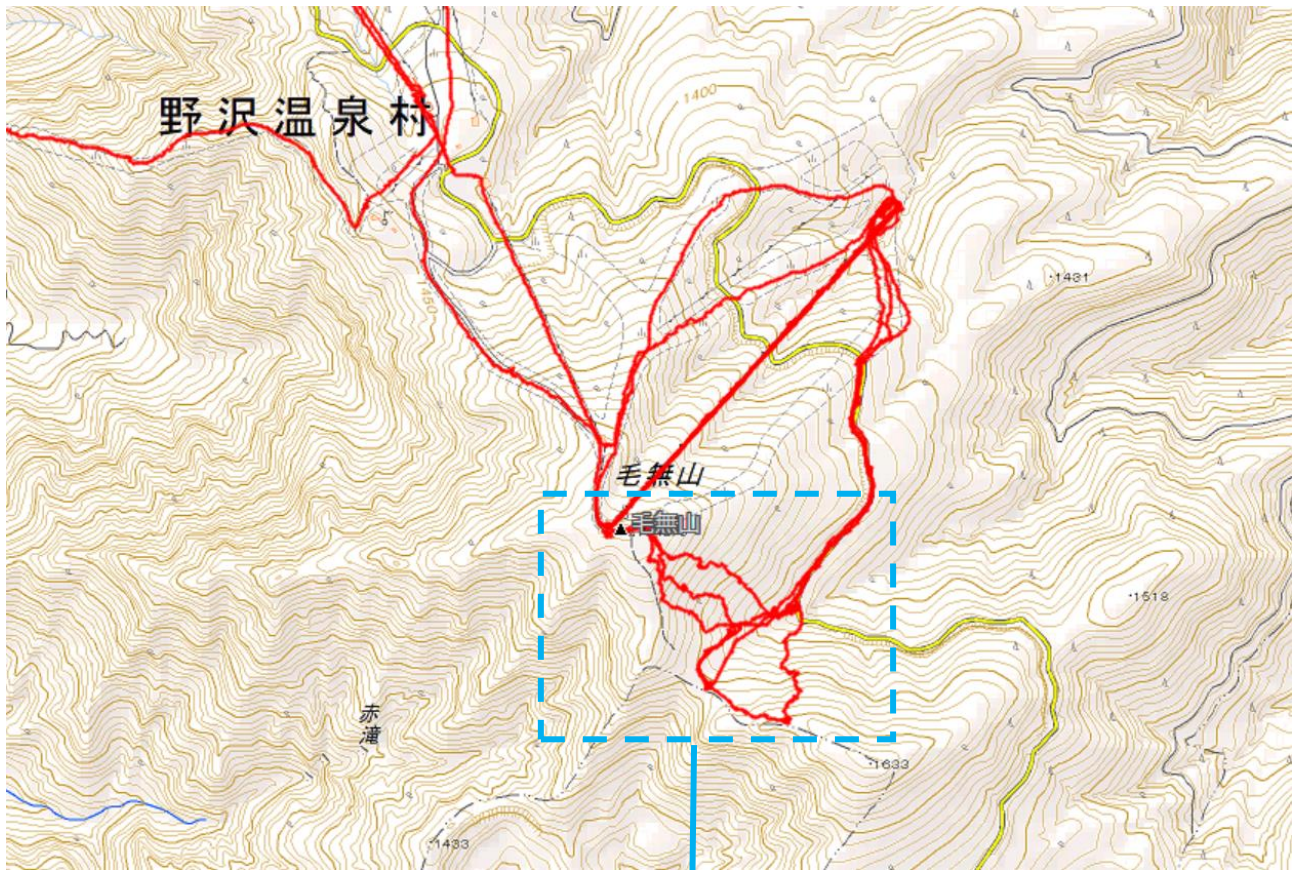








昼食休憩後、解散し、ゲレンデスキーを楽しみ、最終者は15時30分に終了し。



木島平スキー場の宿で移動、宿泊。

2日目 2019(平成31)年1月13日(日) くもり、風はほとんどなし

鍋倉山

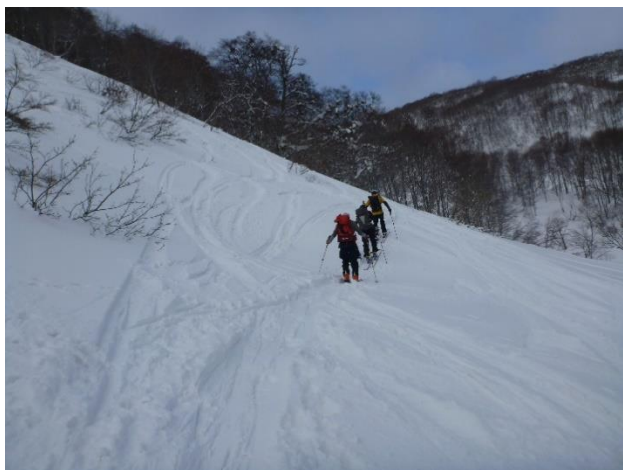
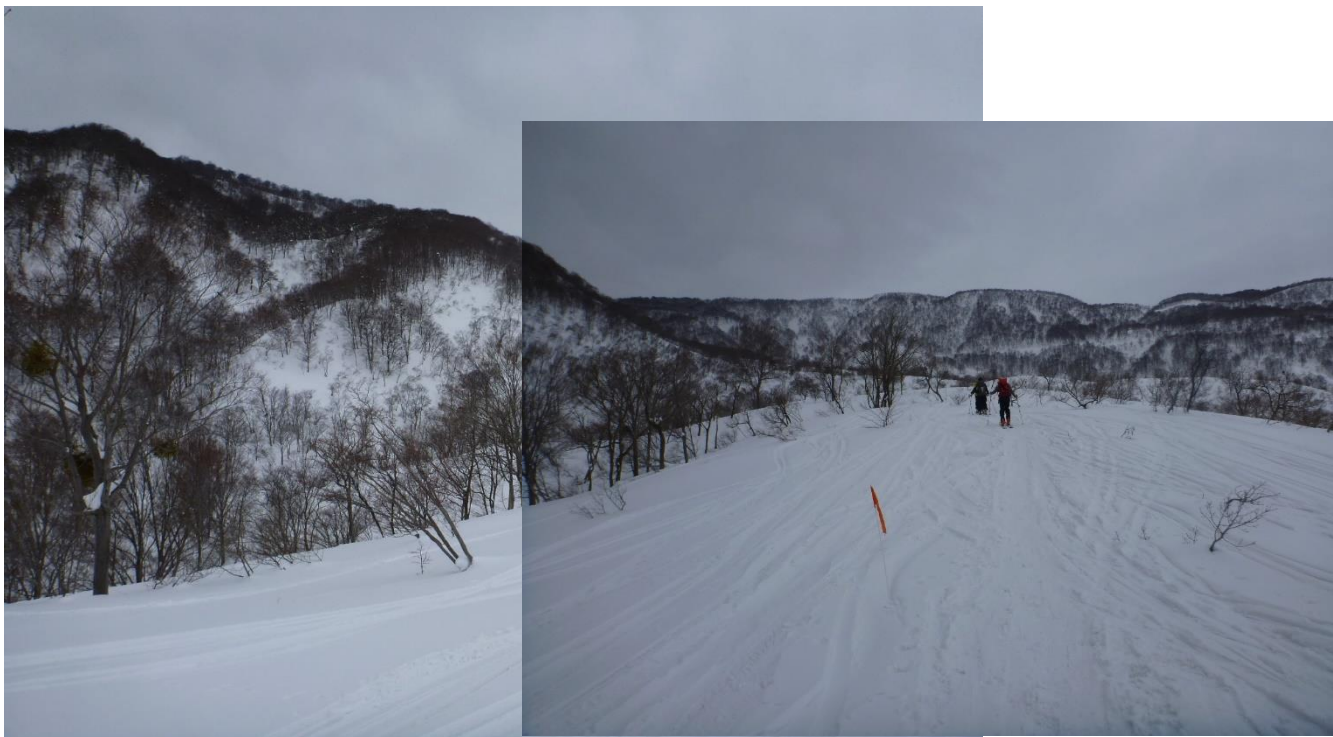
宿の朝食後、朝7時過ぎに宿を出発し、温井の除雪終了点に8時頃に到着。既に多くの車が駐車されていて、多くの人が入山しているようであった。

登りルートと下りルートは、現地の状況を見て、柔軟に判断しようということで登り始めたが、しっかりしたトレースに自然と誘導されてしまった。この登りルートは新刊の「山スキールート212」に掲載されている「NO. 124 残雪期沢ルート」で、安定した斜度の登りであった。黒倉山と鍋倉山のコル手前に到着し、尾根通しに少し登ると鍋倉山(1289m)到着。



山に入る人は、こんな感じに、縦列駐車。

巨木の谷登山口方向に向けた緩斜面の登り。写真左側は、巨木の谷北尾根。



この先が鍋倉山山頂

鍋倉山に到着。早々に、シールを外し、滑降準備。



できるだけ、新しい斜面を探し滑る。雪質は重く、昨日のような軽さはないが、トレースのない斜面の滑降は快適で楽しかった。

滑降ルートは「NO. 125 巨木の谷北尾根ルート」を取ったが、前半は、快適な斜度と新しい雪面を求め巨木の谷側に入り、後半は尾根に戻り滑降した。最後は、雪質が悪いため林間を滑らず、林道を大回りしたが、この林道は、スキートレースやスノーモービル跡がえぐれて凍っており、極めて滑りにくく、たいへん疲れた。12時過ぎに終了。



馬曲(まぐせ)温泉(500 円、あとで J A F 優待のステッカーに気づく)に立ち寄り、入浴。一度服を着ないといけないが、少し離れた場所に露天風呂もあり、いい温泉。本日体調不良のため休暇中の K さんと合流し、さらに、馬曲(まぐせ)温泉で昼食を取り、14時過ぎに神戸に向け出発。高速道の渋滞も全くなく、神戸には20時ごろ到着。